

別紙

福山リサイクル発電株式会社福山リサイクル発電所温室効果ガス削減実施状況報告書

1 事業の概要

(1) 事業所の名称

福山リサイクル発電株式会社 福山リサイクル発電所

(2) 事業所の所在地

広島県福山市箕沖町107番8

(3) 業種

ごみ処分量 8816

2 計画の期間

本計画の期間は平成18年度を基準年度とし、平成26(2014)年度～平成30年(2020)年度までの5年間とする。

3 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標の達成状況

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標：売電量（千kWh）当りのCO₂排出量（t）

温室効果ガスの種類	基準年度の実績(a)	目標年度 上段：目標(b) 下段：削減率(c)	計画期間の実績 (上段：原単位実績(d), 下段：削減量の対基準年度比(e))				
			平成18年度	平成30年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
エネルギー 起源CO ₂	0.04528	0.04357 3.8	0.05041 -11.3	0.05106 -12.8	0.04719 -4.2		
非エネルギー 起源CO ₂	0.63213	0.62794 0.7	0.61584 2.6	0.62522 1.1	0.61271 3.1		
メタン							
一酸化二窒素	0.04430	0.04307 2.8	0.04188 5.5	0.04252 4.0	0.04167 5.9		
フロン類							
温室効果ガス 総排出量	0.72171	0.71458 1.0	0.70813 1.9	0.71878 0.4	0.70157 3.8		
エネルギー消費 原単位（原油換 算kl）	0.05188	0.04836 6.8	0.05398 -4.0	0.05501 -6.0	0.04982 4.0		
実績に対する 自己評価		<p>非エネルギー起源CO₂及び一酸化二窒素の排出量が対前年度より減少しているのは、廃棄物燃料であるRDFの受入量が少なくなり、処理量が減少したことによりものであります。</p> <p>エネルギー起源CO₂は、昨年1月に実施した設備トラブル改善により、安定した運転を行うことが可能になったため、熔融炉立上げ・立下げに必要な補助燃料（コークス・灯油）の使用量が減少した事により、エネルギー消費原単位が減少した。</p>					

※ 削減率(c) = ((b) - (a)) / (a) × 100 削減量の対基準年度比(e) = ((a) - (d)) / (a) × 100

4 温室効果ガスの排出の抑制に係る具体的な取組の実施状況

○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組み

項目	削減量等	具体的な取組み
1 補助燃料使用量削減	補助燃料である石炭コークスの使用量を昨年比で約 12%削減及び灯油バーナーの灯油使用量も昨年比で約 48%削減	<ul style="list-style-type: none"> ・ボイラー二次燃焼室への排ガス再循環吹込み角度変更による安定燃焼の確立 ・石炭コークス品種変更による使用量削減
2 所内電力量の削減	所内電力の使用量を昨年比で 3.4%削減	<ul style="list-style-type: none"> ・ボイラーの安定燃焼が確立されたことにより、安定運転操作が容易になりトラブルによる運転停止回数が減少して、起動停止用電力量が削減
3 電気使用量の削減	削減量の把握は出来ないが、運用については徹底した。	<ul style="list-style-type: none"> ・空調機適正温度管理（冷房 28℃）暖房（20℃）を表示し、管理を徹底した。 ・不要照明の消灯を徹底した。

○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組み（環境価値の活用等）

種類	合計量
1	
2	
3	

○ その他の取組み

項目	数値目標	具体的な取組み
1 光化学オキシダント夏期特別対策（6/1～8/31）期間における窒素酸化物排出量 10%削減	管理値 50 ⇒ 45 ppm（10%削減）	6/1～8/31の11:00～17:30の間 管理値 50 ⇒ 45 ppm（10%削減）にて運転

※ 環境に配慮した実践的な取組みなどをされていれば記入してください。